

いきいき情報

のびのびルーム廃止は1年延期

市の強硬姿勢に多方面から反対

豊かな放課後実現のため話し合う共同の場を

児童の放課後を豊かで安全なものにと全児童対象に実施している放課後児童対策事業『のびのびルーム』を三月末で打ち切り、多くの子供たちを締め出し、長年働いてきた指導員（ケアワーカー）の解雇を計画していた堺市は、このほど「施策見直しに市民や関係者の理解が得られない」として、事業見直しの実施を一年延期することを明らかにしました。

「のびのびルーム」見直し方針は昨年九月一日に発表されましたが、のびのびルーム廃止に代わって、新たに小学三年生以下を対象とする児童福祉法に沿った「学童保育」と地域での遊び場として小学校の運動場や体育館を平日の午後五時十五分まで開放する事業を新規施策として実施するというものです。

これに対し堺学童保育連絡協議会に参加する保護者を中心とした市民は、「参加児童も

増え保護者と指導員が協力して作り上げてきたものをなぜ廃止なのか。四年生以上の切り捨ては納得できない」として、「のびのびルーム廃止反対 継続・発展を」と運動をすすめてきました。

自治会・民間保育園関係者からも反対

さらに、児童の健全育成に協力してきた地域の自治連合会や学童保育の実施先とされている民間保育所からも市の突然の方針変更に対する声が出る中、「見直しの実施を強行するな。時間をかけて関係者の合意作りを」との声が高まり、このたびの方針変

更となったものです。

子どもたちを中心にした幅広い市民合意を

堺市は、見直しの実施を一年延期するだけとしています。が、高学年児童の切り捨てや指導員が働きつづけられないことなど見直し内容は大きな問題があります。子どもたちの豊かな放課後の実現のために幅広い市民が協力して施策のあり方を検討することこそ必要なことではないでしょうか。（写真は、堺学童保育指導員労組が掲げた横断幕）



日本共産党堺市会議員団

四	本	正	士	29	-	27	11
奥	村	健	二	99	-	89	69
城		勝	行	98	-	63	62
森	井	よ	りの	70	-	73	08
岡		つ	ぶむ	55	-	25	68

幸	一	45	-	60	82
栄	一	44	-	05	17
恵	子	36	-	28	22
花	子	32	-	14	85
良	平	59	-	28	83

日本共産党地区女性部副部長

なら谷けい子 92-5507

日本共産党東北ニュータウン生活相談所長

げん中みおこ 97-7989

介護保険制度の改善は切実な課題

利用状況は約4割の低水準に

先日、堺市に於ける「介護サービス給付実績状況」が三九・一％（十二年八月分）と報告されました。

厚生省調査による利用状況が四三・二％ですから、堺市は全国の利用状況を下回っているのが実態です。これらの数字から判断して、現状では介護保険は非常に利用しにくい制度になっている、ということがうかがえます。

利用者一割負担が大きな重荷に利用しにくい一番の原因が、所得の多い少ないにかかわらず、一律に本人負担十％（継続利用者のみ三年間は三％）という利用料金の大きさにあることは、はっきりしています。

「負担が大きいために、本来受けるべきサービスが受けられず、所得の多い少ないにかかわらず、一律に本人負担十％（継続利用者のみ三年間は三％）という利用料金の大きさにあることは、はっきりしています。」

また、保険料についても、今年十月からは、現保険料の二倍に跳ね上がります。特に低所得者、例えば「本人非課税世帯」の人ですら、月々の保険料が標準額の三、三六六円になりますから、まさに家計を直撃し、払えない人が続出することも予想されます。

また、特別養護老人ホームの待機者が約五百人とも言われているなかで、施設整備の推進も重要な課題です。「老後を安心して過ごす」ことができるよう、介護保険制度の改善と充実にむけて、日本共産党は、よりいっそう市民のみなさんとともに奮闘します。

また、特別養護老人ホームの待機者が約五百人とも言われているなかで、施設整備の推進も重要な課題です。「老後を安心して過ごす」ことができるよう、介護保険制度の改善と充実にむけて、日本共産党は、よりいっそう市民のみなさんとともに奮闘します。

また、特別養護老人ホームの待機者が約五百人とも言われているなかで、施設整備の推進も重要な課題です。「老後を安心して過ごす」ことができるよう、介護保険制度の改善と充実にむけて、日本共産党は、よりいっそう市民のみなさんとともに奮闘します。

ダイエーの撤退ですむ空洞化

堺東地区 大資本の身勝手に規制を



五月末で撤退するダイエー堺東店が入る「ジョルノ」

の保険料の通知が発送される三月にも、また、その問い合わせが殺到しそうです。

減免や軽減を実施の自治体続々

いま全国では政府の圧力をはねかえし、一四八の自治体が保険料の減免を実施し、四一〇の自治体が利用料金の軽減を実施（全日本民主医療機関連合会調査）しています。八十万人を擁する中核都市、堺市がいまだにこいつた措置を講じようとしていないこと自体、市民に冷たく、まったく情けない話です。

基礎整備、制度の改善は急務

また、特別養護老人ホームの待機者が約五百人とも言われているなかで、施設整備の推進も重要な課題です。「老後を安心して過ごす」ことができるよう、介護保険制度の改善と充実にむけて、日本共産党は、よりいっそう市民のみなさんとともに奮闘します。

高島屋について市当局が同店から離れたところによると、今年から来年にかけてリニューアルするということであって、閉店はないということだ。

こわされる地域社会

こうした問題は堺東だけではなく、近頃の商店街や公設市場がなくなれば、お年よりにとつてますます大変です。商店街などが地域活動や祭りなど地域コミュニティの支え手として大きな役割を果たしてきたことも重視すべきです。

背景に大資本優先の規制緩和と政策

大型店の郊外への無秩序な出

21世紀は「女性の時代」

真の「男女共同参画社会」の実現を

「二一世紀は「女性の時代」「人権の時代」と言われています。

二一世紀は「女性の時代」は、女性参政権をはじめ女性の権利が大きく前進しましたが、男女平等では、賃金格差など女性への差別が強く残っています。

昨年十一月男女共同参画基本法が閣議決定されました。この計画は政策、方針決定過程への参画の拡大、雇用の分野などでの均等機会、待遇の確保、男女の職業生活と家庭、地域生活の両面の支援など、二〇一〇年までの基本的な方向と二〇一五年までの具体的施策を掲げています。

男女共同参画社会の実現が、二一世紀の最重要課題としながら、これまでの政府の計画から後退している所も少なくありません。本市も男女共同参画社会



私が堺のみなさんと知り合ったのは、堺の臨海部の埋立地73区に自然をとり戻し、海釣りもできるなぎさ公園を」と取り組まれていた方たちとの出会いからです。

週刊釣りサンデー会長.....

小西和人さん、堺を語る

りもの魅力です。堺のまちは、まさにそのたまちなのです。

経済が優先され、東洋一と言われた白砂青松の海岸が埋め立てられ、市民から海辺がうばわれてきました。産業構造の変化などもあり、今が市民に海辺を取り戻していく絶好の機会でもあります。

埋め立てや開発をすすめる市政ではなく、堺市が全国に誇れる魅力を活かしたまちづくりがすすめられるよう、私共の限り協力していく決意です。

（住みよい堺市をつくる会）の新年集会でのあいさつから）

む個人的ににぎわい豊かな堺東をどうつくるか、いずれにしても地域の商店経営者やそこに住む人々の意見をよく聞いて進めることが大切です。

予算議会（2・3月）の日程

2月20日	議会運営委員会
22日	本会議（議案の提案）
23日	議会運営委員会
27日	本会議
28日	本会議
3月1日	本会議
5・15日	予算審査特別委員会
16日	本会議（追加提案）
19日	市民環境経済委員会
21日	厚生委員会
22日	建設委員会
23日	文教委員会
26日	総務委員会
27日	議会運営委員会
29日	本会議（採決）

*2月22日と3月29日の本会議は午後1時から、他の会議は、すべて午前10時からです。いずれも傍聴できます。

実現をめざして取り組まれています。しかし、基本法成立以来十一自治体で条例が作られているなか堺市ではまだです。

今日、女性の職域拡大などの名のもとで、女性労働者の時間外、休日、深夜労働を規制した労働基準法の女性保護規定が取り除かれてしまいました。女性は、子どもを出産するという大事な役割があります。また、子育てについてもただでさえ男性の理解や協力が不十分ななか働き続けるのは大変です。

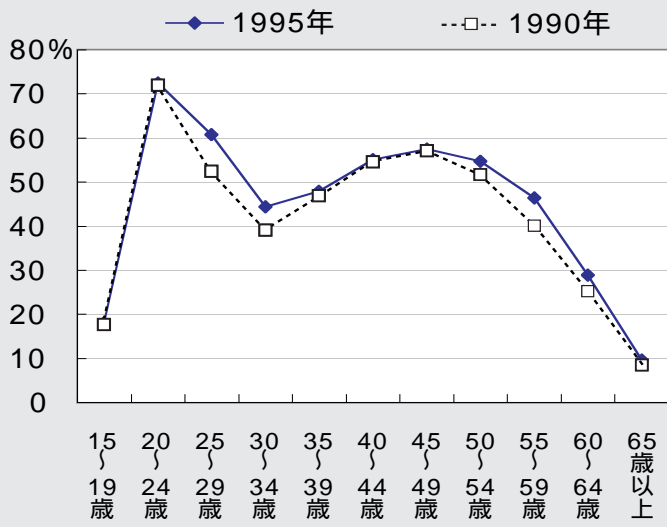
「男女共同参画社会基本法」制定の時、女性たちが真に求めたのは、憲法と女子差別撤廃条例の理念に立つた男女平等法でした。国も自治体も女性問題を個々の問題とせず、母性保護の観点を基本にきちっと据えて、取り組むことが重要です。真の男女平等、女性の地位向上を実現するため私たちも皆さんと力を合せて進めていきます。

数字に見る堺市政 その5

M字型雇用くっきり

女性の労働力人口は子育て期に低下する傾向があります。これは堺市でも同様です。これをM字型雇用と言います。少子化社会の中、この時期の積極的子育て支援策がもとめられています。妊娠・出産を理由とする不利益扱いへの対応の検討、仕事と子育ての両立支援のための長時間残業免除請求制度、短時間勤務制度、子どもの看護のための休暇などを日本共産党は提案しています。

堺市の女性人口に占める労働力人口の割合の推移



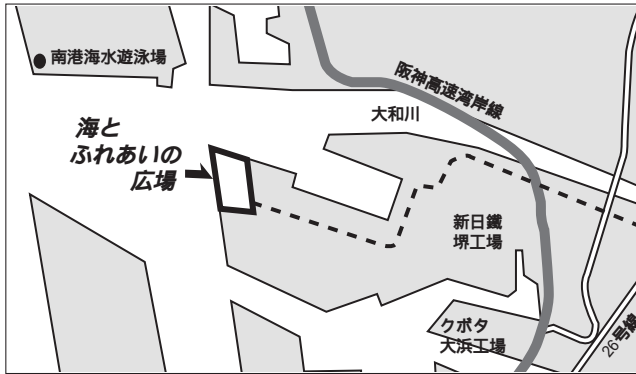


海とふれあいの広場

築港八幡町

一面は芝生で開放的な広場です。現在ある施設(建物)は、ログ

大和川が大阪湾に流れ込む堺市の先端部、新日鉄堺製鉄所がある埋立地の西の先端に堺市が管理する「海とふれあいの広場」が、昨年十月オープンしたことをご存知ですか。



堺市では、「水辺と広大な土地を活かした自然と人間とのふれあいの場」にしていきたいとしています。

ハウス調の管理棟とトイレだけ、駐車場は通常三〇〇台分が確保されています。見渡すかぎりの広場ですが、そこから見える風景は、堺市が大阪湾の海岸にあるまちであることを再認識させてくれます。

北側には、大和川の河口、その向うには住之江区にある南港海水浴場や優雅な、かもめ大橋がながめられ、西側は広大な大阪湾、いきさする船舶や、大和川からの自然のめぐみで育った魚介類の漁をする漁船も間近に見ることが出来ます。

筆者が訪れたのは、一月末のためまだ寒さが厳しく、一面の芝生も新しい芽をふきだす前で、緑が少なく、ものたりなく感じました。同時に春が待ち遠しくも感じました。

議会内外での主な活動	
12月25日~2月2日 (は議会関係)	
12月25日	小口更生資金貸付審査会(乾)
1月 5日	仕事はじめ
8日	成人式に参加
9日	消防出初式に参加
17日	議会運営委員会(奥村・栗駒・城)
18日	小口更生資金貸付審査会(乾)
19日	一月臨時議会(全議員)
23日	少子・高齢化対策特別委員会視察(乾・平松)
26日	議会運営委員会(奥村・栗駒・城)
30日	小口更生資金貸付審査会(乾)
2月 1日	消防組合議会視察(芹生・栗駒・森・石谷) バス運営協議会視察(四本)

役に立つ情報

税の「還付申告」豆知識

【年末調整とは】

サラリーマンの多くは、毎月の給料から税金が天引きされています。

しかし、その天引きの税額は、概算によるものです。そして、その年中の所得総額が決まる12月に、本来支払うべき税額を計算し、払いすぎている場合や不足の場合に、調整をするのが「年末調整」です。

【「還付申告」とは】

会社など勤め先から源泉徴収されていたが、昨年途中で退職した場合や、病気・けがなどで多額の医療費を払った場合、また住宅を取得した場合などでは、税務署に税金の還付を申請することができます。

これを還付申告といいます。手続きは源泉徴収票と領収書と控除証明書などを添える必要があります。

【介護保険料や利用料も一部控除】

今年からは、介護保険料や利用料金(ただし医療関係分)も控除されますので、気を付けて申告しましょう。

「申告用紙」は、税務署、市役所などにあります。

疑問点があれば、ご連絡下さい。

案を含め、みんなで育てていきたいと思いました。

開放日と時間

一月六日から十二月二十八日

午前九時から午後五時

ソフトボールなどもできます

問い合わせは

堺市建築都市局臨海新都心整備担当課

電話(二八)八三五

「街のホットスポット」は今回で終了します